



2008年7月25日

報道関係者各位

慶應義塾大学

**シンガポール政府の招きにより慶應義塾大学が  
Keio-NUS CUTE センターをシンガポールに設立  
～デジタルメディア・クリエイティブ産業の発展を目指して～**

慶應義塾大学は、シンガポール政府インタラクティブ・デジタル・メディア研究開発プログラムオフィス (Interactive and Digital Media Research and Development Programme Office, 以下 IDMPO) から招聘を受け、Keio-NUS CUTE (Connective Ubiquitous Technology for Embodiments) センターをシンガポールに設立します。同センターは、シンガポール国立大学 (National University of Singapore, 以下 NUS) と緊密な連携により活動、運営し、NUS と慶應義塾大学の双方に設置します。Keio-NUS CUTE センターでは、ユビキタス社会におけるライフスタイル・メディアに関する研究、最先端ネットワークを活用したグローバルコンピューティングに関する研究、アジアにおけるコンテンツ及びポップカルチャーのトレンドに関する研究を先の二大学の研究者が共同で行います。Keio-NUS CUTE センターは、慶應義塾においては、2008年4月に開設された慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 (以下 KMD) が中心となって研究の推進、運営を行います。

## 1. 設立の背景

メディア産業及び芸術・文化産業等のクリエイティブ産業 (Creative Industries) は、世界の各国が注目している新産業分野です。シンガポール政府は、クリエイティブ産業を育てることを国家戦略の一部としており、今後6年間で、世界からこの分野で先端的な大学・研究所10機関を選定し、シンガポール国内に連携研究所の設立を目指しています。マサチューセッツ工科大学 (MIT)、北京の中国科学院オートメーション化研究所に次いで世界で3番目の研究所として慶應義塾大学がパートナーに選ばれました。慶應義塾大学のデジタルメディア・クリエイティブ産業における先端性がシンガポール政府に評価され、このたびの Keio-NUS CUTE センター設立となりました。

具体的には第一に、2004年に、デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構(DMC)を設置し、「デジタルコンテキスト」 contextual digital content (デジタルコンテンツ素材を利用目的に沿って生成・編集・加工・統合することによりデザインされる、シナリオをもったデジタルコンテンツ)の創造を推進し、他機関との連携による研究開発・国際流通促進・人材育成を行ってきた実績があります。次に、2008年4月にKMDを開設し、創造力を前提とした総合判断力を有する人材の育成に力を注いでいます。KMDは、デジタルメディアに関するデザイン、テクノロジー、マネジメント、ポリシーの分野について教育研究を行うことを特徴としており、一つの大学院でこの4分野すべてをカバーするのは世界でも例を見ません。

## 2. Keio-NUS CUTE センターについて

(1) 設立場所：シンガポール国立大学内および慶應義塾大学日吉キャンパス協生館内

(2) 活動内容：

研究領域

(a) コミュニケーションとライフスタイルメディア

さまざまなライフスタイルに対応する新たな価値をインフラとコンテンツの両面から創造する。

例：着る人の時々の気持ちによって見た目が変化するような衣服

(b) メディア・テレスコープ・アジア

メディア上に流れる情報を継続的に観測・分析することによってビジネスモデルに発展させる。

例：日本で流行ったアニメがどのような経路・媒体によってアジアのほかの国で流行るのか？  
分析することで新たなビジネスモデル確立をさぐる。

(c) グローバルコンピューティング

ネットワーク上に存在する数多くのコンピュータが繋がることによって、有益なコンテンツの量産を促す。

例：国外の子どもたちの最初の日本体験となっているアニメキャラクターなどグローバルなコンテンツ創造や、こういった知的資産の著作権侵害への政策的取り組みへの働きかけ。

目指す成果

(a) グローバルなデジタルメディア産業、クリエイティブ産業分野の活性化

- ・ デジタルメディア・クリエイティブ産業分野の人材育成
- ・ デジタルメディア・クリエイティブ産業分野の起業
- ・ テクノロジライセンス

(b) グローバルなデジタルメディア研究の推進

- ・ 特許
- ・ 論文
- ・ 研究者の育成

(3) 慶應義塾大学の主なスタッフ

稲蔭正彦 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科委員長。専門分野はエンタテインメントデザイン、メディアアート、デジタルシネマ、CG

大川恵子 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授。専門分野はデジタルコミュニケーションと教育環境、アジア教育基盤の構築

エイドリアン・チェオク 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授。シンガポール国立大学で、本分野における権威として教鞭をとった後、KMD 設立に際して慶應義塾大学に移籍。専門分野は、エンタテインメントコンピューティング、インタラクティブデザイン、複合現実感 (MR: Mixed Reality)

村井 純 慶應義塾常任理事、慶應義塾大学環境情報学部教授。専門領域はコンピュータコミュニケーション、オペレーティングシステム

### 3. Keio-NUS CUTE センター設置に際しての関係者のコメント

#### (1) マイケル・ヤップ IDMPO エグゼクティブ・ディレクター

シンガポールにとって、慶應義塾大学のような日本で一流の高等教育機関と戦略的パートナーになるのは、大変喜ばしいことです。日本はインタラクティブ・デジタル・メディア分野の主要なリーダーとして広く認知されているので、シンガポールの研究者にとっては、日本の研究者たちとの共同研究によって、画期的な研究推進の機会が大幅に増えることとなります。このパートナーシップにより、シンガポールのインタラクティブ・デジタル・メディア分野の研究開発の可能性が深まり、シンガポールは東西へのゲートウェイとして相応しい場所となることが期待されます。

#### (2) 村井 純 慶應義塾常任理事

多民族、多言語国家であるシンガポールに Keio-NUS CUTE センターを設立することによって、慶應義塾大学は、メディアと文化に関して先導的な研究を推進し、日本とシンガポールにおいて、東南アジアのゲートウェイとして、また世界のデジタルメディア・クリエイティブ産業の発展に寄与することを目指します。今後は、このセンターが慶應義塾大学の国際化の推進にもつながるよう、トップレベルの研究者とのコラボレーションなどを活発に行い、成果を出していきます。

### (3) 稲蔭正彦 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科委員長

私たちは「創造的な社会」の出現に直面しています。それは生産性や効率よりも創造力がグローバル経済の推進力であるという世界です。創造的な社会は、世界規模で資源を再配分し、日常生活での人間の創造力の発揮を可能にするため、インターネットとユビキタスネットワークにつながった社会です。このセンターでは我々のライフスタイルを再構築するために「楽しい5秒間」というテーマで革新的な研究に注力します。科学技術者、デザイナー、民族学者などいろいろな分野の専門家が参加予定です。

## 4. ご参考

### (1) 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

メディアデザイン研究科は、デジタルメディア・コンテンツや創造力を生かしたデザインマネジメントの領域において、世界を舞台に、デジタル社会を創造し産業界をリードする人材や次世代のメディア領域を創出し、社会をイノベートする人材を育成することを目標に2008年に開設されました。メディアデザイン分野において国際社会を先導するため、「実学」として「リアルプロジェクト」を取り入れ国内外の研究機関等との共同研究を推進しています。

### (2) シンガポール国立大学

シンガポールにある大学3校はすべて国立大学ですが、この中で最大規模を誇る大学で1905年に設立されました。世界でも有数の研究施設、整備されたIT環境のもと、建築から医学、音楽まで幅広い学部を展開し、多民族国家であるシンガポールを象徴し100カ国から3万人以上の多様な学生が集まっています。慶應義塾大学とは大学間協定が結ばれています。

### (3) シンガポール政府 Interactive and Digital Media Research and Development Programme (IDM R&D Programme)

2006年1月に設立されたNational Research Foundation (NRF)のもとで、シンガポール特有の多文化、多言語等のアイデンティティや情報と通信インフラでの基盤、アジアで最良の知的資産(IP)体制をもつ信頼された都市機能、有能な人材の宝庫という評判を活かして、イノベティブなビジネスモデルなどデジタルメディア・クリエイティブ産業分野での得意分野を創出することを目指しています。

\* ご取材いただく場合、慶應義塾広報室あてにご連絡ください。

\* 本資料は、文部科学省記者会、新聞各紙社会部・科学部、雑誌編集部等に送信させていただきます。

-----  
本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室 (河越・水野)

TEL 03 - 5427 - 1541、FAX 03 - 5441 - 7640

Email m-koho@adst.keio.ac.jp <http://www.keio.ac.jp/>